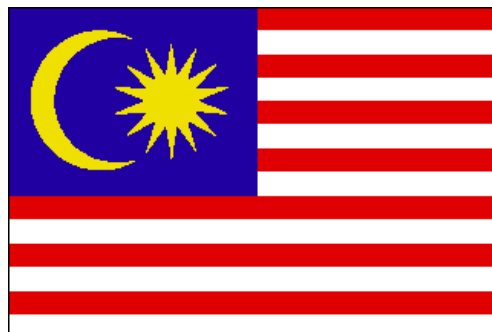


【2014 年度専門科目医療相談 第2弾】

★クアラルンプール&ペナン&マラッカ小児科・歯科相談会★

今年度2カ国目の専門科目医療相談会を7月9～14日の間、マレーシアのペナン、クアラルンプールとマラッカで、其々日本人会の主催の下に開催しました。今回も関係者の皆様の周到なご準備のおかげで好評のうちに無事実施することができました。概要をご報告します。



<ペナン>

実施日 7月9日(水)・10日(木)

会場 ペナン日本人学校

担当医師 小児科 舟橋敬一先生(埼玉県立小児医療センター)

歯科 田中健一先生(北京天衛診所)

歯科 萩原麻美先生(東京小児療育病院)

相談者 小児科 22名

歯科 190名

◎今年度はペナンからスタートしました。

ペナンでの小児相談、歯科相談は2010年からで其々4回目、5回目です。例年通り日本人学校校舎を会場に、さくら会の皆様に交代交代で当日の受付を担当して頂きました。



◎歯科保健教室

2日目(10日)の午後、5年生、6年生を対象に田中先生による歯科保健教室を開講しました。テーマは

『5,6年生にとっての正しい歯みがきの仕方 -小さい歯ブラシを使うこと-』

内容: 5,6年生は虫歯が少ないように見えるが過去に虫歯になっていると虫歯になりやすい環境にあるため小さい歯ブラシを用いて丁寧な歯みがきが必要であること。最低、5分間は磨かないと磨き残しができてしまうこと。



<クアラルンプール>

実施日 7月11日(金)~13日(日)

会場 クアラルンプール日本人会

担当医師 小児科 舟橋敬一先生

歯科 田中健一先生

歯科 萩原麻美先生

歯科 塩原康弘先生(成増北口通り歯科)

相談者 小児科 52名

歯科 270名

◎2002年から始まったクアラルンプールでの歯科健診は今年で13回目、小児検診は2004年から11年目でした。勝手知ったクアラルンプール日本人会館での相談会は現地側もJOMF側も安心してスムーズに進めることができました。



塩原先生

◎例年土曜・日曜の希望者が多いことより本年は土、日に更に1名の助っ人歯科医：塩原先生に来て頂きました。



KL日本人会幼稚園にて

◎4人の先生方の感想・コメントです。(JCKL会報誌原稿より)

(田中健一先生)

20年も前のことです、外国で働いてみたい、と考えた若人が自分の想いを聞いてくれる国を探して、バックパック1つでアジアを回っていました(そう、今年の塩原先生のように)。メールどころか携帯もなく、国際電話がべらぼうに高かった時代です。そんな人間の話をも唯一聞いてくれたのが当時のKL日本人会とKL日本人学校の方。他の国では相手にもされなかった、だから会ってもらえただけで嬉しかった、その時間いた話が元となり、今の健康相談会の原型ができあがりました。「うん、大丈夫、問題ないです」と来年も多くの方に言えるよう新しい知見を用意しておきます。



(萩原麻美)

クアラルンプールは、2008年以来、2度目の担当。日本人会館は、以前と変わっておらず、本当に懐かしく感じました。相談に来てくださった方は、以前に比べてお子さまが多いという印象を持ちました。どのお子さまも礼儀正しく、身の引き締まる思いがいたしました。6年前と比べて、全体的にお口の中のトラブルは少なく、虫歯も少なくなったと感じます。



継続して、歯科相談、フッ化物塗布をすることの大切さを実感できました。小学校低学年までは、保護者の方の仕上げみがきが必要です。また、お口のケアは全身の健康に役立ちます。今後、必要なお口のケアの情報を皆様にもっとお伝えできればと思います。クアラルンプールに在住されている方々の歯科疾患や歯科医療に対する不安が、少しでも軽減されましたらうれしく思います。

(塩原康弘)

今回、マレーシアにて歯科相談会に初めて参加致しました。

相談にいらした相談者の方々からお聞きしたことは「虫歯になってしまうと海外では通院への言葉的・心理的・金銭的な敷居が高く不安だから歯ブラシを頑張っている」、「子供達が虫歯になってもどうすれば良いのか分からないことがあるから仕上げ磨きをしっかりとやっている」との日本での予防の現状より虫歯予防に対して意識を高くしないといけない環境であると感じました。しかし、虫歯の多い相談者もいらっしゃる現状もあり、日本国内のようにすぐに歯科医師に相談できる環境にないことが一因となっているのだと認識出来ました。もっと歯科の介入が必要であり、マレーシアにお住いの方々自身の歯科に対する認識の向上も必要なのだと感じられました。

今後、当院では何かしらの方法で海外への進出をします。今後、お役に立てる際にはどうぞよろしくお願ひします。

(舟橋敬一) 小児科健診を終えて

小児科健診を担当させていただきました。僕にとっては 6 回目。「相談することは何もないけど、元気な姿を見せる。」ためにお越しいただいた方もおられて、うれしかったです。やはり子どもの時期の 1 年の変化は大きく、内心驚きながら拝見しました。

内容的には通常の乳幼児健診、アレルギー、予防接種のご相談を多くいただきました。発達に関しては日本の生活から見ると特殊な多言語環境の問題が避けて通れないことのようにです。言葉の獲得は考え方そのもの、世界観そのものの獲得ですから、相互に行きかうのは子どもにとっても、しんどい作業ではあるのです。小さいうちはメインを決めておかれるといいのですが、状況が許すかということもあって難しい問題です。アレルギーはそのものよりも、こちらの空気や暑さといった環境の問題のご不便を伺いました。また、日本の予防接種スケジュールもこちらのものと同様



同等となり、髄膜炎が減ってきているなどの効果を実感しておりますが、移行のための混乱がまだ存在しています。それぞれの方にとって短時間ではありましたが、お話しさせていただいたことが何かの参考になれば幸いです。

## <マラッカ>

実施日 7月14日(月)  
会場 ORNA Golf & Country Club ロッジ内特設会場  
担当医師 小児科 舟橋敬一先生  
                  歯科 田中健一先生  
相談者 小児科 4名  
                  歯科 15名

初めてのマラッカでの開催です。

多分ゴルフ場で開催した初めての相談会だと思います。周辺に何もなく並びの9番ホールグリーン脇では作業員が殆ど一日中昼寝をしていました。プレーヤーは9~16時の相談会開催中に一組だけだったと思います。



3階建のこのコテージは結構作りが良く、玄関を入った正面に受付台、横に問診表記入用のソファー&テーブル、2階の1室を小児科、3階の1室を歯科相談室として使いました。日本人会館、日本人学校の無い中で良い会場を見つけて頂きました。来年はプレーとセットで募集されたらと思います(ジョークです)。





最後に、ペナン、クアラルンプールそしてマラッカの日本人会・日本人学校  
の関係者の皆様のご尽力、在マレーシア日本国大使館、在ペナン日本国総領  
事館のサポートに感謝申し上げます。